

松平忠固チャンネルが開設

上原 昇（2組）

歴代の上田藩主を辿ると、真田昌幸は初代城主として、真田信之が初代藩主になります。2代は小諸藩から仙石忠政が移封、政俊、政明と仙石が3代続きます。

5代目に但馬出石藩から松平忠周（ただちか）が仙石と入れ替わりました。

忠周は徳川吉宗時代に老中を務めています。

松平は忠愛（たださね）、忠順（ただより）、忠濟（ただまさ）、忠学（たださと）と続き、第10代に播磨姫路藩主酒井忠実の次男、忠固が忠学の養子として上田藩主となります。

忠固は二度目老中就任時に忠優（ただます）から忠固に改名しています。

そして11代は忠固の三男忠礼（ただなり）が最後の藩主となります。こうしてみると、真田は昌幸時代も入れて39年、仙石時代が84年、松平時代が162年となり、圧倒的に松平の世が長かったことが分かります。

さて、徳川幕府の老中を二度も務めた忠固は幕末史に大きな足跡を残したのに拘わらず、歴史上、埋もれた人になっています。

今、忠固を再評価しようという動きが活発になっています。

先般、筆者が参加した早稲田大学オープンカレッジ『不平等条約史観を見直す』4回講座（同窓86期の関良基さんの講義）もその一環です。

先日、松平家の関係者で構成されている上田の明倫会会長を務める布施修一郎君（6組）から以下の情報が届きました。松平忠固にスポットを当てた“歴史エンタメ・チャンネル”（YouTube）が開設されたとのこと。

以下のURLを覗いてみてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=3gLoUwC3254>

（2026年3月6日）

以上



「開国の父は 井伊直弼」
「日米修好通商条約は 不平等条約」
もし、教科書のこの記述が間違いだったとしたら？

このチャンネルは、幕末の歴史の波に消された
悲運の老中・松平忠固（ただちか）にスポットを当て
その真実を徹底検証する
歴史エンターテインメント・チャンネルです。

